

第201回 信用保証利用企業動向調査

(2019年4～6月期実績、2019年7～9月期見通し)

福岡県信用保証協会（本所：福岡市博多区 会長：山崎建典）は、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区 代表取締役総裁：田中一穂）と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次回の発表は2019年10月を予定しています。



— 今回の調査 —

【調査時点】	2019年6月中旬
【調査対象】	1,772企業
【有効回答数】	616企業（回答率34.8%）
【調査方法】	封書によるアンケート調査



～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

「県内信用保証利用企業の景況は、一部に弱い動きが見られるものの、持ち直しの動きが見られます」

生産・売上 卸売業以外の業種で改善し、特に製造業は大幅に改善しました。

採算 製造業、建設業以外の業種で悪化しました。

資金繰り すべての業種で悪化しました。

借入難易感 建設業、小売業以外の業種で悪化し、特に製造業は大幅に悪化しました。

■ お問い合わせ先

保証統括部 保証企画課 赤司・内田 電話092(415)2609

URL : <https://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : h-suisin@fukuoka-cgc.or.jp



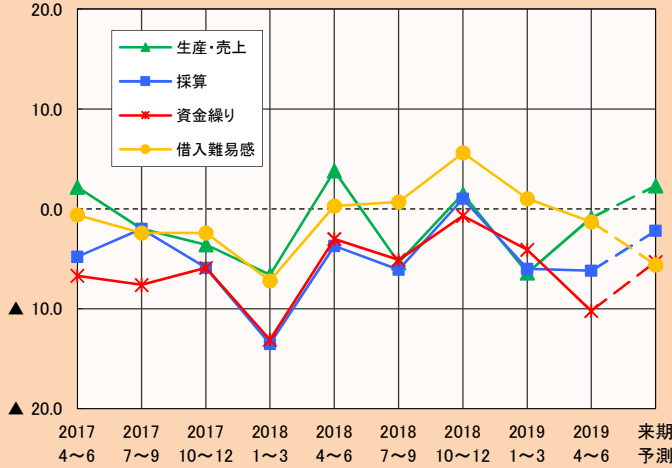
概況

総合DIの推移

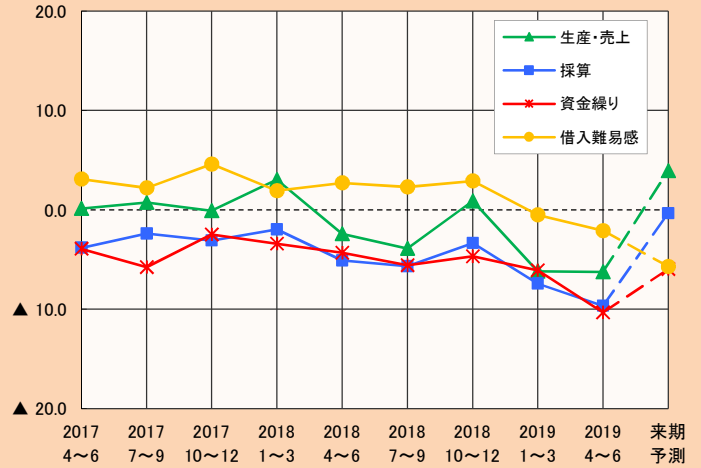
コメント ~福岡の景況は一部に弱い動きが見られるものの、持ち直しの動き~

今期調査(2019年4~6月期)による景況動向指数は、前期(2019年1~3月期)実績に比べ、全国値では、生産・売上DIは横ばいとなっていますが、資金繰りDI、採算DI、借入難易感DIは悪化しました。福岡では、生産・売上DIは改善、採算DIは横ばいとなっていますが、資金繰りDI、借入難易感DIは悪化しました。来期予測について、全国、福岡ともに借入難易感DI以外で改善する見込みとなっています。

福岡



全国



※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは...

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

TOPICS (『継続型短期保証WIDE』のご案内)

■商品の特長

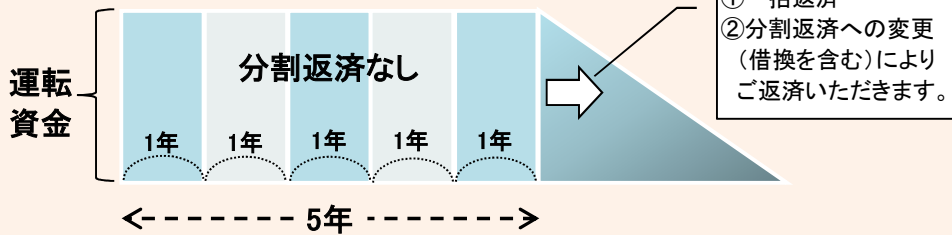
特長1 毎月の返済がない一括返済の短期資金

特長2 最大8,000万円まで最長5年間の継続利用が可能

特長3 信用保証料率は0.1%の割引

■ご利用のイメージ(例)

最大
8,000
万円



■ご利用できる方

次のすべての要件を満たす保証対象中小企業者

- (1) 1期以上の決算(確定申告)を行っている方
- (2) 申込時点において申込金融機関のプロパー融資(※)残高がある方
- (3) 【法人の場合】 直近決算において経常利益を計上している方、または債務超過でない方
【個人事業者の場合】 直近の確定申告における申告所得を計上している方

※プロパー融資とは...信用保証協会の保証がつかない融資等をいいます。

■取扱期間

新規申込 : 2020年3月31日(火) 保証協会受付分まで

更新期限 : 2025年3月31日(月) 保証協会受付分まで

※初回申込が2019年3月29日(金)までの取扱分は2024年3月29日(金) 保証協会受付分まで

商品の詳しい内容につきましては
お問い合わせください。

※金融機関・信用保証協会の審査により、ご希望に添えない場合がございます。



福岡県信用保証協会

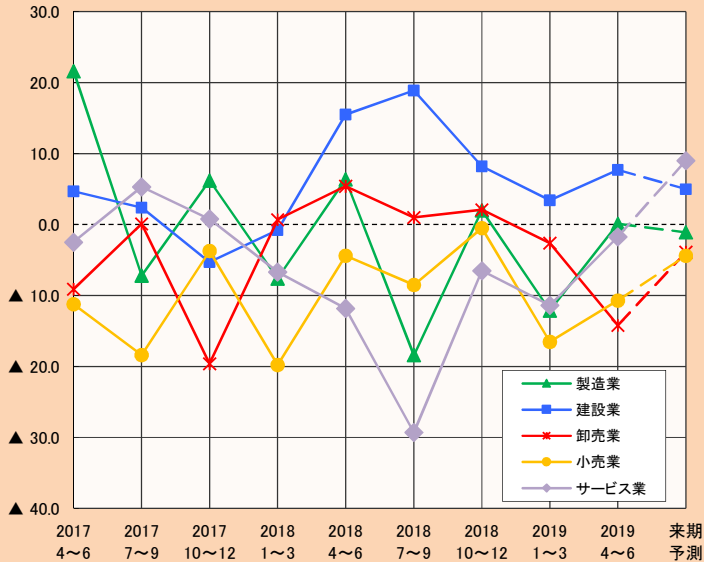
【お問い合わせ先】 保証統括部 保証企画課 ☎092-415-2609

生産・売上DI

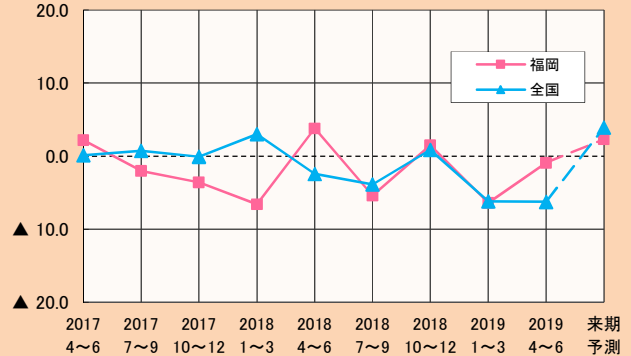
コメント ~卸売業以外の業種で改善し、特に製造業は大幅に改善~

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ5.5ポイント改善し、▲0.9となりました。
業種別では、前期実績に比べ、卸売業は11.6ポイント悪化しました。一方で、製造業は12.2ポイント、サービス業は9.7ポイント、小売業は5.8ポイント、建設業は4.3ポイント改善しました。
来期予測では、製造業、建設業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績・売上DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績・売上DIの総合



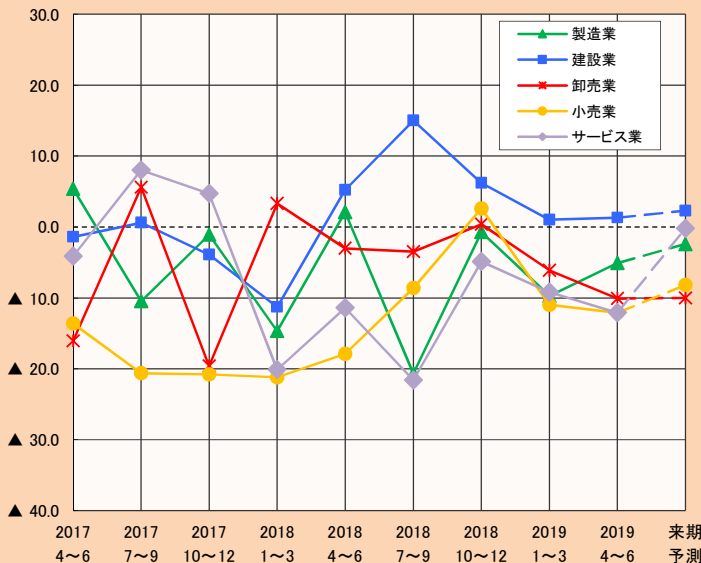
	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	9.0	▲0.9	2.3	▲1.1
製造業	▲0.7	0.1	▲1.1	▲1.1
建設業	11.6	7.7	5.0	5.0
卸売業	14.9	▲14.2	▲3.9	▲3.9
小売業	17.0	▲10.7	▲4.4	▲4.4
サービス業	1.7	▲1.7	9.0	9.0

採算DI

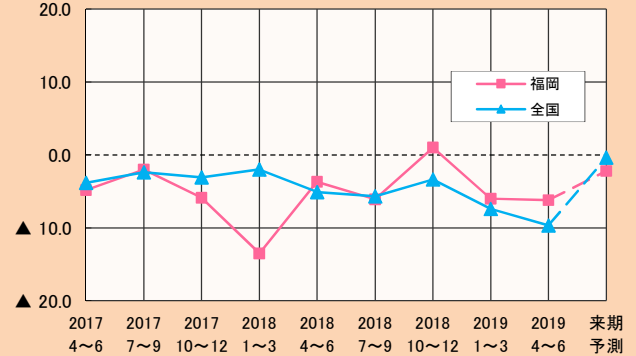
コメント ~製造業、建設業以外の業種で悪化~

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ0.2ポイント悪化し、▲6.2となりました。
業種別では、前期実績に比べ、製造業は4.6ポイント、建設業は0.3ポイント改善しました。一方で、卸売業は4.0ポイント、サービス業は2.9ポイント、小売業は1.1ポイント悪化しました。
来期予測では、すべての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績・採算DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績・採算DIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	3.4	▲6.2	▲2.2	▲2.2
製造業	▲1.3	▲5.1	▲2.4	▲2.4
建設業	3.8	1.3	2.3	2.3
卸売業	6.7	▲10.1	▲10.0	▲10.0
小売業	8.8	▲12.1	▲8.2	▲8.2
サービス業	▲1.9	▲12.1	▲0.2	▲0.2

資金繰りDI

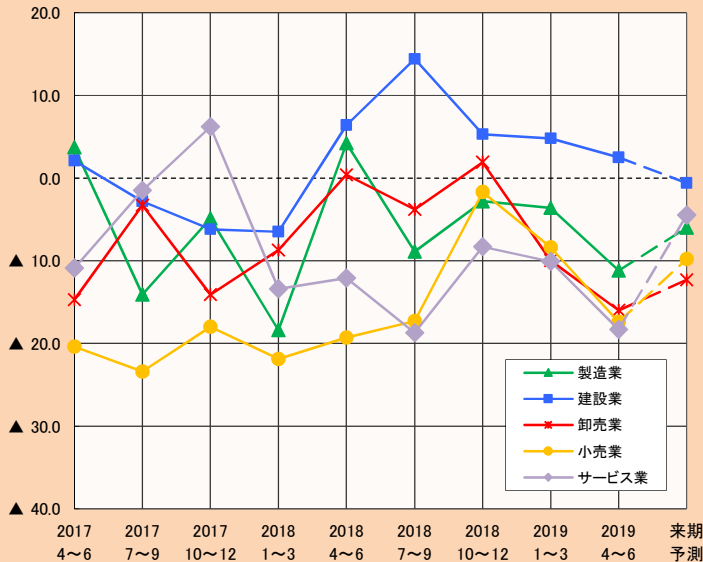
コメント ~すべての業種で悪化~

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ6.1ポイント悪化し、▲10.2となりました。

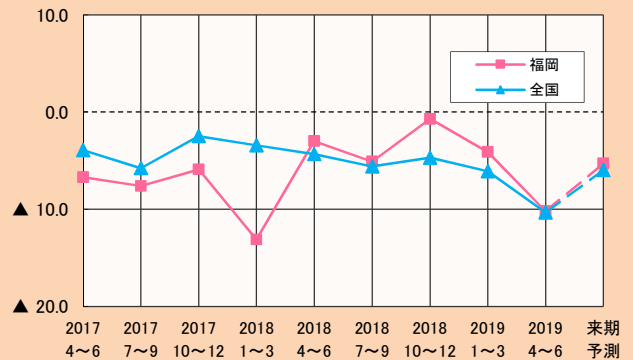
業種別では、前期実績に比べ、小売業は9.0ポイント、サービス業は8.2ポイント、製造業は7.6ポイント、卸売業は6.0ポイント、建設業は2.3ポイント悪化しました。

来期予測では、建設業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



全国と福岡県の資金繰りDIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 3.6	▲ 10.2	▲ 5.3	
製造業	▲ 4.1	▲ 11.2	▲ 6.0	
建設業	▲ 1.2	2.5	▲ 0.6	
卸売業	▲ 3.7	▲ 16.0	▲ 12.3	
小売業	▲ 4.6	▲ 17.4	▲ 9.8	
サービス業	▲ 6.3	▲ 18.3	▲ 4.5	

借入難易感DI

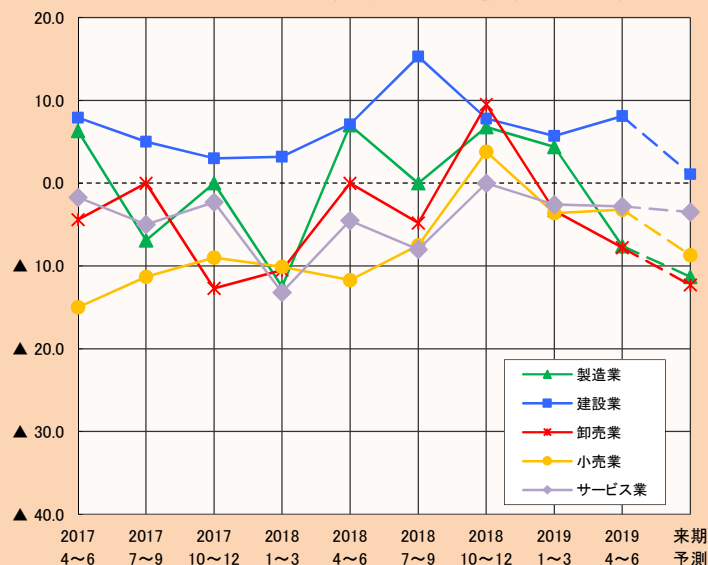
コメント ~建設業、小売業以外の業種で悪化し、特に製造業は大幅に悪化~

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ2.3ポイント悪化し、▲1.3となりました。

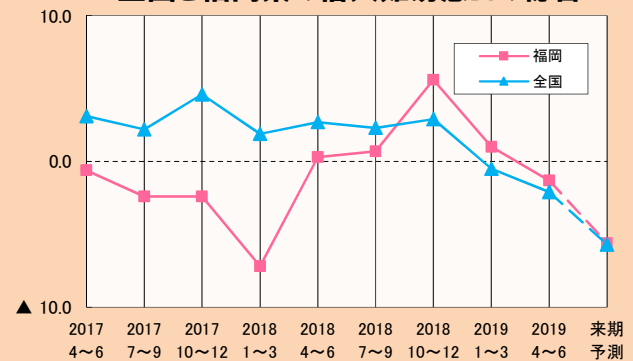
業種別では、前期実績に比べ、建設業は2.4ポイント、小売業は0.4ポイント改善しました。一方で、製造業は12.0ポイント、卸売業は4.5ポイント、サービス業は0.2ポイント悪化しました。

来期予測では、すべての業種で悪化する見込みとなっています。

福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



全国と福岡県の借入難易感DIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 5.7	▲ 1.3	▲ 5.6	
製造業	▲ 4.4	▲ 7.6	▲ 11.3	
建設業	▲ 4.5	8.1	1.1	
卸売業	▲ 11.6	▲ 7.8	▲ 12.3	
小売業	▲ 4.8	▲ 3.2	▲ 8.7	
サービス業	▲ 5.1	▲ 2.8	▲ 3.5	

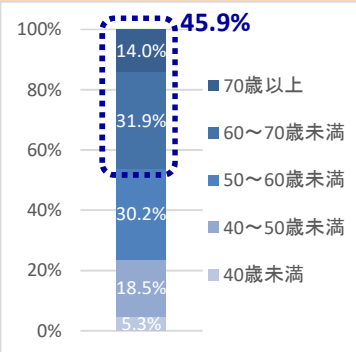
事業承継について

コメント

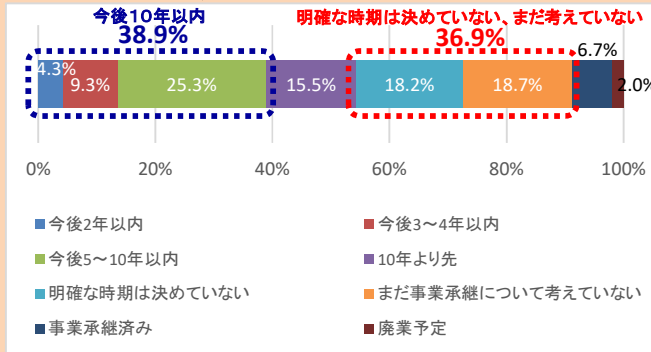
1. 経営者の年齢と事業承継時期
 - (1) 経営者の年齢層は、60歳以上が45.9%を占めています。
 - (2) 事業承継時期については、「今後10年以内」とする企業が38.9%となっていますが、「明確な時期は決めていない」、「まだ考えていない」とする企業も36.9%となっています。
 - (3) 今後10年間の事業の将来性については、「成長が期待できる」、「現状維持は可能」とする企業が62.2%を占めています。
2. 事業承継の相談相手および事業承継の相手先
 - (1) 事業承継に係る相談相手については、「税理士、公認会計士」が57.0%で最多となり、次いで「家族、親族」が51.4%となっています。
 - (2) 事業承継の相手先については、「家族、親族」が52.7%で最多となり、次いで「役員、従業員」が21.5%となっています。一方で「明確に決めていない」が22.0%となっています。
3. 事業承継時の課題については、「事業承継者を教育すること」が最多となり、次いで「取引先との関係を維持すること」となり、経営ノウハウ等の承継に関するものの割合が高くなっています。

1. 経営者の年齢と事業承継時期

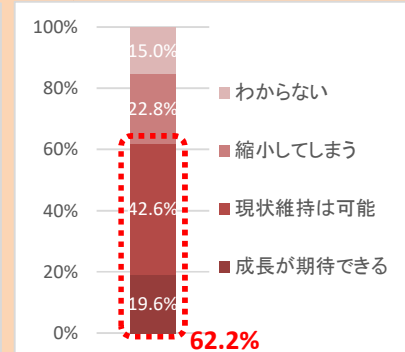
(1) 経営者の年齢層



(2) 事業承継時期

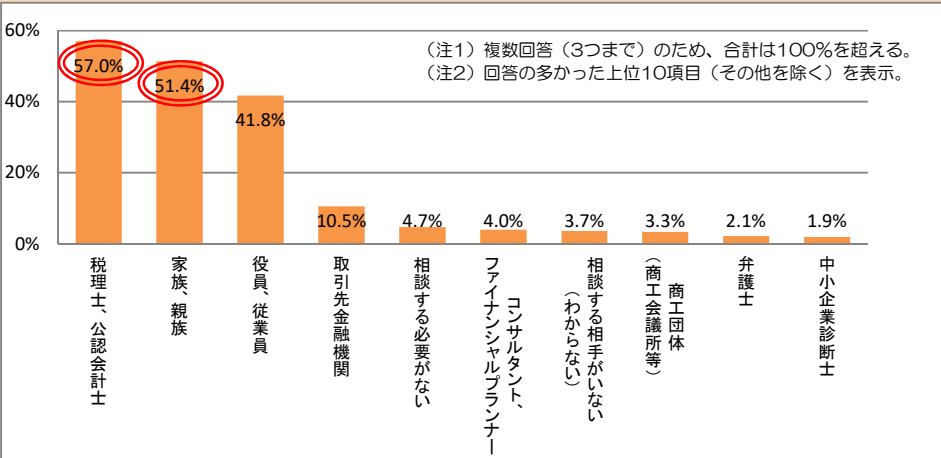


(3) 今後10年間の事業の将来性

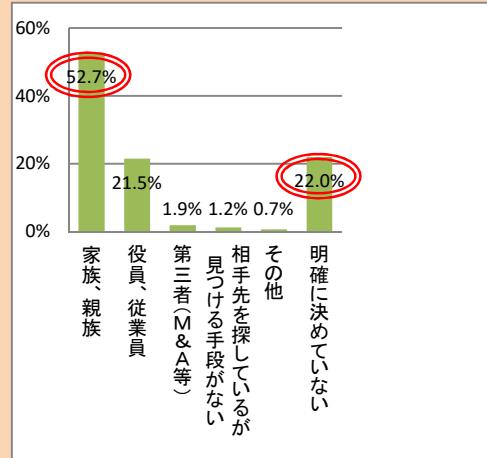


2. 事業承継の相談相手および事業承継の相手先

(1) 事業承継に係る相談相手

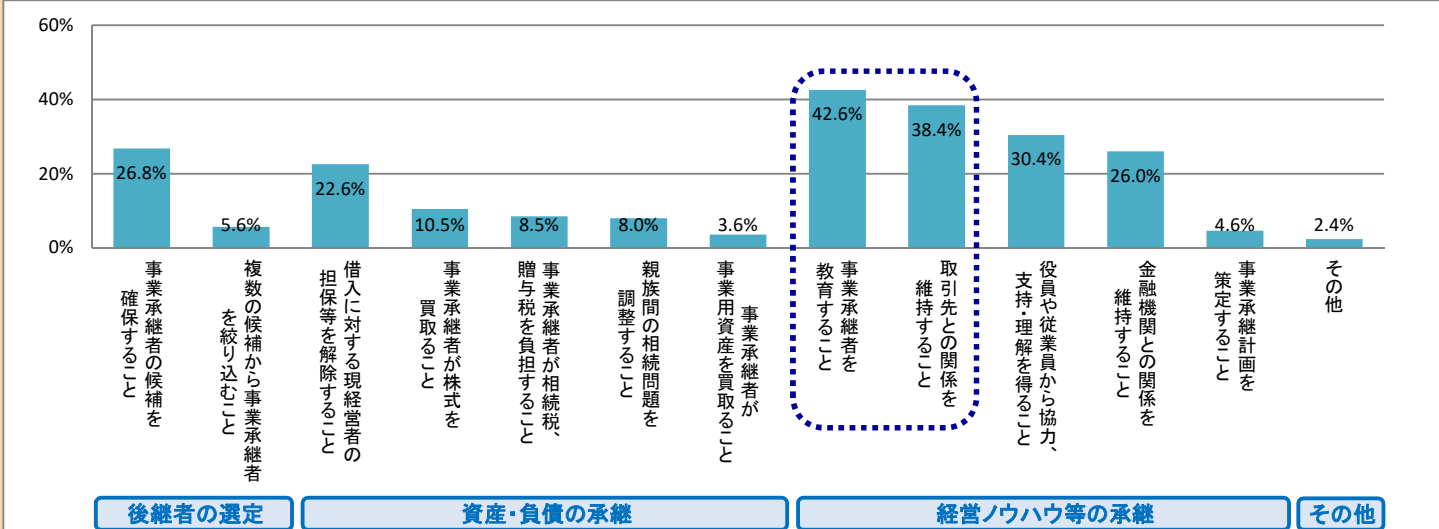


(2) 事業承継の相手先



3. 事業承継時の課題

(注) 複数回答（3つまで）のため、合計は100%を超える。



後継者の選定

資産・負債の承継

経営ノウハウ等の承継

その他